



通算第 20 号の SSH 通信となります。今回は「地域課題を探究し解決策を提案する力」を身に付けることを目標とする学校設定科目「天草サイエンス I」（通称 ASI）で行われた『天草学連続講義』の内容と成果についてお知らせします。

第 1 回：天草の概要と企画戦略（天草市役所総合政策部 池田恵美子様）

4/16(火)実施。少子高齢化が進む天草市の課題を教えてくださいました。また、医療費無償の拡大、保育料減、小中学校のエアコン整備、移住者が昨年度 106 名いらっしやることなど、様々な話をさせていただきました。第 2 瀬戸橋(仮称)や中央図書館などの複合型施設が新たに建設されるといったホットな話題も教えてくださいました。



第 2 回：天草の起業（Ama-biz センター長 内山隆様）

4/23(火)実施。『今チャンスは都会ではなく、地方つまり天草が持っている』『天草は起業に失敗しても再度挑戦する豊かな環境がある』など、挑戦意欲あふれる講話でした。また、ビジネスを考える際には、天草の魅力を商品化するだけでなく、天草にあったらよいものと考えようということも教えてくださいました。



第 3 回：天草の水産業（天草市役所水産振興課 山岡優太郎様）

5/28(火) 6 限目に実施。天草市が 3 つの海に囲まれており、多魚種・多漁法といった特徴があることや、熊本県の約 70%を天草の魚が占めていることなどを教えてくださいました。また、若者の魚ばなれや事業者の高齢化といった問題があることも教えてくださいました。



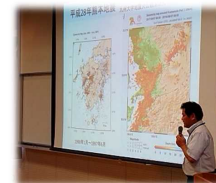
第 4 回：天草の農業（天草市役所農業振興課 山崎剛様）

5/28(火) 7 限目に実施。約 6 割の農家が米を生産されていることや、デコボンなどの果樹の生産額が総生産額の約 4 割を占めることなどを教えてくださいました。実物の農業散布用大型ドローン(天草高校のファントムの 10 倍の大きさ)を見せていただき、先端技術も利用可能であることを学びました。



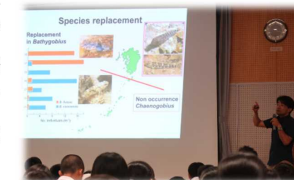
第 5 回：天草ジオパーク（天草市役所 鶴飼宏明様）

6/4(火) 実施。初開催です。湯島だいこんが大きい理由や、活火山が近くにないが豊富にあふれ出る下田温泉の仕組み、天草空港の建設場所の理由などが、全て天草の土地が持つ特性に影響を受けていることを学びました。そのような土地の持つ特性があるからこそ、天草で白亜紀の化石が発見されるといったことを教えてくださいました。



第 6 回：天草沿岸生態系の生物多様性（九州大学 新垣誠司様）

6/11(火) 実施。天草の海洋生物の群集形成における集合則や共存、生物多様性などについて教えてくださいました。また、天草とインドネシアの海の比較や満潮時と干潮時の生態系の変化を、専門的な知見と豊富な研究データをもとに教えてくださいました。実際に大学の授業で使われるスライド(言語は英語)であったこともあり、多くの生徒にとって刺激的な時間となりました。



第 7 回：天草と災害（熊本大学 松田博貴様）

6/18(火)に実施。天草が一方向的にゆるく傾斜したケスタ地形であることや、干満差が大きいことなどが、自然災害の大きさに影響を及ぼすことを学びました。10cmの泥水が路上を覆えば、路面が見えなくなり、溝などに落ちる可能性が高まります。普段から街歩きをして、様々な場所を防災の視点で観察し、減災につなげることの大切さを教えてくださいました。

